

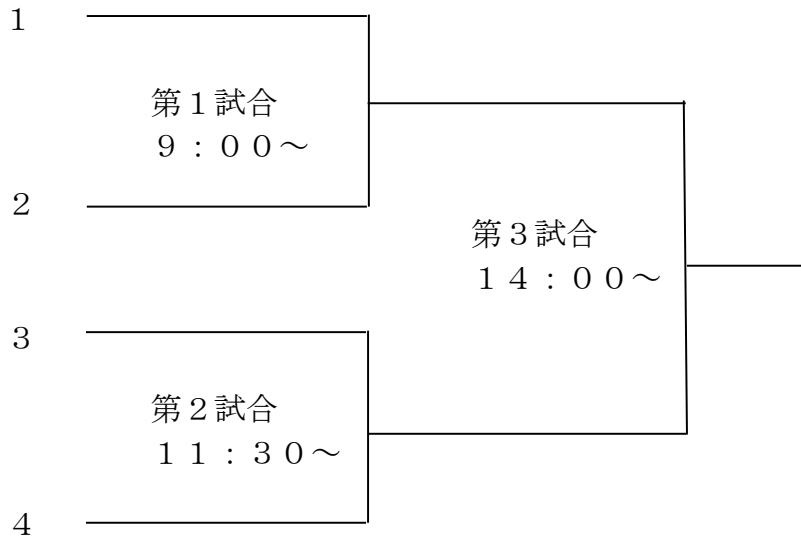
## 軟 式 野 球

期 日 令和 6 年 9 月 8 日 (日)  
会 場 浅中公園野球場  
( 岐阜県大垣市浅中 2 丁目 1 1 - 1 Tel.0584-89-7744)  
開 会 式 実施しません  
競技開始 午前 9 時 00 分  
予 備 日 令和 6 年 9 月 15 日 (日) 会場・時間ともに同じ

## 競 技 役 員

種目別大会委員長 野田 美奈子 (岐阜)  
委 員 長 佐藤 芳樹 (岐阜)  
副委員長 林 康太 (愛知) 川西 稔克 (静岡) 渡邊 明 (三重)  
総務委員 草留 慧 (岐阜)  
記 録 三浦 寛 (岐阜)  
救 護 未定  
審判委員 大垣市軟式野球連盟審判部  
補 助 員 出場校 軟式野球部員

## 組 合 せ



※ベンチは、組み合わせ番号の若いチームを1塁側とする

## 注 意 事 項

- 試合規定 2024 年度公認野球規則ならびに全国大会特別規定による。
- 競技方法
- ① 全試合 7 回制とし、1 時間 45 分を超えて新しいイニングには入らない。また、5 回以降 7 点差以上の場合は、コールド制を適用する。
  - ② 7 回終了時点で同点の場合は、タイブレーク制を適用し、勝敗を決める。
  - ③ 1 時間 45 分を超え同点の場合、7 回に達していなくても新しい回に入らず、タイブレーク制を適用し、勝敗を決める。
  - ④ 雨天により試合続行が不可能と審判が判断した場合には、5 回終了していればコールドゲームとする。(先行チームが負けており、そのまま 5 回表が終了した場合、コールドゲームで後攻チームの勝利とする。) なお、5 回が終了していない場合は継続試合とする。
  - ⑤ 天候不良等で大会運営方法に変更が生じる場合は大会本部で協議をして決定する。

### ※タイブレーク制の方法

- A. 打順はタイブレーク開始直前のイニング終了時の打順を引き継ぐものとする。(次回以降も前イニング終了後からの継続打順)
- B. 走者は無死 1・2 塁の状態から行うものとする。この場合の二人の走者は、前項の先頭打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者の者が二塁走者となる。
- C. タイブレークを開始する各イニングの前に、審判委員と両チームは各塁上の走者に誤りがないか十分に確認する。
- D. タイブレークにおいての選手交代は、それ以前にベンチに退いた選手は除く。
- E. タイブレーク採用からの投球数、塁打数は公式記録から除く。
- F. タイブレークからのタイムの回数は、守備側、攻撃側とも 1 イニングにつき 1 回とする。

試合方法 トーナメント方式

使用球 全日本軟式野球連盟公認球「TOP ボール」M号を使用する。  
※試合球は主催者で用意する。

参加資格 全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟に都道府県予選大会から加盟した学校で、学校長が在学を認める定時制通信制の生徒とする。連合チーム出場については、大会本部および各県専門部で協議をする。

また、次の項目に該当する生徒は本大会には出場できない。

- ① 全国高等学校軟式野球選手権大会（予選を含む）に登録した生徒は、その年度。
- ② 日本高等学校野球連盟硬式野球部に登録した定時制通信制課程の生徒は、移籍した日から満1年間。
- ③ 全日制課程から転編入、転籍した生徒で全日制課程在籍中、日本高等学校野球連盟硬式野球部に登録した生徒は、その年度。
- ④ 高等学校卒業資格を有する生徒。
- ⑤ 全国大会に出場（登録）した回数が4回（三年生在籍生徒は3回）に達した生徒。
- ⑥ 社会人硬式野球大会（予選を含む）に登録した生徒。
- ⑦ 全日本軟式野球連盟の全国大会（天皇賜杯、高松宮賜杯）、東日本軟式野球大会および、西日本軟式野球大会に出場した生徒は、その年度。
- ⑧ 一部の教科・科目の履修を目的とする生徒。
- ⑨ 参加資格規定に触れるチーム・選手、または登録していない選手を出場させたことが分かった場合は、その時点で相手校に勝利を与える。
- ⑩ 参加資格規定に触れたチームが大会組み合わせ抽選後に判明した場合、失格として相手校を不戦勝にする。
- ⑪ 参加資格規定に触れたチームが試合中に発見されたときは、ただちに試合を没収して相手校に勝利を与える。
- ⑫ 参加資格規定に触れたチームが試合後に判明したときには、そのチームの勝利を取消、最後に試合を行ったチームに勝利を与え、それ以前にさかのぼって再試合は行わない。

参加人数 責任教師・監督・助監督・コーチ・記録員 各1名 選手15名以内

表彰 あり

- その他
- ① 各学校は、必ず1名の責任教師が引率し、大会中はすべての行動に責任を負うものとする。
  - ② 参加チームは、試合開始60分前までに到着すること。到着したチームの責任教師は、その旨を本部に連絡すること。また、責任教師と主将は試合開始30分前に、各チームが用意するメンバー表（本部：1、対戦校：1、審判：1、自チーム控え：1）に必要事項を記入し本部に集合すること。その際、岐阜県高体連に提出した選手名簿（コピー可）も添えて提出すること。
  - ③ 大会中の不慮の事故または疾病に対して、主催者は一切の責任を負わない。出場チームは、選手の健康保険証を持参のこと。

- ④ 試合中、選手の負傷その他健康上の理由で、主催者が試合の続行を不  
適当と認めたときは、当該選手またはそのチームに試合を停止させる  
ことがある。
- ⑤ 試合の審判員は、主催者において委嘱する。
- ⑥ 試合中、野球規則に認められていない審判上の抗議は一切厳禁とする。
- ⑦ シートノックは、7分以内とする。ただし、天候・球場の状況などに  
より実施しない場合もある。ノッカーはユニフォーム着用のこと。
- ⑧ グラウンド整備は、各チームで行うこと。
- ⑨ 危険防止のため、打者、走者、ランナーコーチはヘルメット着用しな  
ければならない。また、捕手は守備用具（マスク、ヘルメット、プロ  
テクター、レガース、スロートガード）を着用しなければならない。
- ⑩ 危険防止のため、球場内へのマスコットバット及びバットリングの持  
ち込みは禁止とする。
- ⑪ 金属製バット・カーボン製バットは「全日本軟式野球連盟」が承認し  
たものに限る。（J・S・B・Bマーク入り）
- ⑫ 責任教師は監督・助監督・コーチを兼任する場合ほかは、平服でベン  
チに入ること。
- ⑬ 監督・助監督・コーチはユニフォーム着用でなければベンチに入るこ  
とはできない。
- ⑭ 登録されたマネージャーは、制服またはジャージでベンチに入ること  
ができる。（マネージャーは生徒1名とする）
- ⑮ 雨天による開催の可否決定は、午前6時に行う。
- ⑯ 気象状況によっては、イニング間等に給水時間を設ける場合がある。

《 連 絡 先 》

華陽フロンティア高等学校 佐藤 芳樹

T E L 058-275-7185